

31 メヒルギ (ヒルギ科メヒルギ属)



指定 昭和 45 年 11 月 16 日 町指定天然記念物(植物)
所在地 栗生満泊
管理者 屋久島町

熱帯や亜熱帯の浅い海岸の泥地、いわゆるマングローブ林に群生する。高さ 3~5 ㍍、水に浸る部分から下部には多くの支柱根をだし、独特の雰囲気をかもしだす。葉は革質で肉厚、表面には光沢があり、長さ 6~12 ㍍の長楕円形。7~9 月にかけて花が咲く。花弁は長さ約 1 ㍍で 5 個あり、先は糸状に細く裂ける。がく片は線形で花弁より大きい。果実は長さ 2~3 ㍍の卵形。種子は樹上で発芽して先端よりこん棒状の幼根を伸ばし、落下したときに土壤に刺さって成長する。果期は 4~8 月。

マングローブ林の構成種は北にいくにしたがい減少し、屋久島では栗生にメヒルギのみが生育する。メヒルギ群落の分布の北限は、鹿児島市の喜入である。

喜入、大浦、屋久島・種子島以南の島嶼、台湾、南支~インド、ボルネオに分布。

紅樹林。熱帯から亜熱帯の入江、ラグーン、河口などの潮間帯を中心に発達する、熱帯・亜熱帯を特徴づける代表的な植生。マングローブ林は、塩分濃度が高く、潮の干満により冠水が見られ、砂泥質で通気性が悪く、未分解の有機物を多く含んでいる特有な立地に発達する。

